

## 令和元年度第1回逗子市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 2019年（令和元年）7月11日（木）午後3時～4時15分
- 場所 逗子市役所第6会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）  
大河内誠（会長） 宮川光男、村田祐子
- 欠席者 佐久間健（副会長）、金子博暢
- 事務局 文化スポーツ課：阿万野課長、土屋係長、鈴木主任、鬼原主任
- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0人
- 資料

### 事前配付資料

- 資料1 平成30年度第2回逗子市スポーツ推進審議会議事録（案）
- 資料2 平成30年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）
- 参考資料1 逗子市スポーツ推進審議会条例
- 参考資料2 平成29年度逗子市スポーツ推進計画評価調書
- 参考資料3 逗子市スポーツの祭典2018参加者集計表
- 参考資料4 逗子市スポーツの祭典2018チラシ
- 参考資料5 逗子市内 小学生のためのスポーツ団体一覧
- 参考資料6 うみかぜクラブ 入会案内

### 当日配付資料

- 次第
- 名簿
- 参考資料7 今後の予定について
- 参考資料8 ようこそスペインセーリングチーム

- 記録 鬼原主任 2019年（令和元年）7月12日（金）作成

## 開会

## 任命式

## 教育長挨拶

本審議会は、逗子市のスポーツ推進の要である皆様に、逗子市のスポーツ推進に係る意見をいただくというものである。本市はスポーツ都市宣言にのっとり、さまざまなスポーツ行事等を行っているが、今後スポーツをどのように広めていくか、幅広い意見を頂戴したい。

昨今、スポーツは福祉との連携が深く、体力・健康維持に密接な関係があるものと考えられている。市長が力を入れている「元気な高齢者プロジェクト」には、庁内でも広範囲の部課が関わっているが、その推進に当たっても、皆様の意見は大変貴重なものとなる。ぜひ、たくさんの意見をいただきたい。どうぞよろしく願います。

## 定数の確認

### 事務局

本日は、委員数5名のうち3名の出席がある。「逗子市スポーツ推進審議会条例」第7条の規定により、会議が成立していることを報告する。

### 会長、副会長の互選

#### 宮川委員

会長は、大河内委員にお願いしたい。

#### 【異議なし】

(大河内委員を会長に選出することで決定)

#### 宮川委員

副会長は、佐久間委員にお願いしたい。

#### 【異議なし】

(佐久間委員を副会長に選出することで決定)

### 事務局

「逗子市スポーツ推進審議会条例」第5条第3項に基づき、この後の進行は会長に願います。

## 資料の確認

### 前回議事録の承認

#### 会長

前回の議事録の承認をお願いします。

事前に送付した資料1「平成30年度第2回逗子市スポーツ推進審議会 議事録(案)」について、異議はないか。

## 【異議なし】

### 会長

異議なしとのことで、本議事録について承認することと決定した。

### 事務局

今後の議事録については、より速やかな情報公開を行うため、会議終了後に内容について委員の皆様の承認を得られた段階で、市ホームページへの公開をさせていただきたいがよろしいか。

## 【異議なし】

### 【議事】

(1) 平成 30 年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について

### 会長

それでは、議題 1「平成 30 年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書」について、事務局から説明をお願いします。

### 事務局

事前に送付した資料 2 をご覧いただきたい。

まずは様式の確認をしていただく。平成 28 年度のこの審議会において、承認された様式を用いて、調書を作成している。今年度も引き続きこの様式を用いて進めてよいか、ご意見をお願いします。よろしければ、ご覧の資料が平成 30 年度の事業の「実施結果、進捗状況、自己評価」となり、評価の対象となる。

### 会長

評価調書の様式について、引き続き現在の様式を用いることでよろしいか。

## 【異議なし】

### 事務局

資料 2 について、事業ごとに「実施結果、進捗状況、自己評価」について読み上げる。はじめに「逗子市スポーツの祭典の開催」についてである。参考資料 3、4 も合わせてご覧いただきたい。

(資料 2 「逗子市スポーツの祭典の開催」の読み上げ)

### 会長

「逗子市スポーツの祭典の開催」について、意見があればお願いしたい。感想等も願います。

予算の無い中で頑張ったという印象である。参加者も増えている。所管課の自己評価に逗子市スポーツ推進計画の基本目標である「健康づくり」「場づくり」「交流づくり」に寄与できる内容とあるが、「基盤づくり」についても寄与したと思う。中・長期的効果のところに、スポーツに関わるきっかけが生まれやすい環境づくりを推進することができる、とあるので、全ての基本目標について網羅していると思うがいかがか。予算が無くてここまでできた、というのは、基盤ができていからこそ、ではないか。

#### 事務局

「基盤づくり」の定義が、スポーツ施設の整備と改修を主な内容としているので、「逗子市スポーツの祭典の開催」の自己評価からは外した。ただ「環境を整えた」という意味からとると、「基盤づくり」も関わっていると考えられる。

#### 会長

スポーツ施設の整備と充実については、箱物だけでなく使い方を充実させる、という考え方もある。例えば、1つの場所を複数の団体に使えるように小分けにする、といったことだ。予算が無い中で箱物に対する改修を伴うような整備をすることは難しく、予算が少ない中でどう対応するかが大切である。しかし審議会として、改修を伴う整備にかかる予算措置を求めていくなれば、「基盤づくり」について、ここで言及することは適切ではない。

#### 事務局

テーマが「逗子市スポーツの祭典」であったので、あえて「基盤づくり」には触れなかったところがある。ただ、会長が指摘するとおり、スポーツができる場の確保、ということも「基盤づくり」のなかで謳っているもので、今回、予算がない中で関係者が工夫して事業を実施したということを見れば、「基盤づくり」に寄与したとも言える。

#### 会長

予算措置ゼロで事業を行っていくには限界がある。

#### 官川委員

予算措置ゼロのなか、参加人数が増えるような結果を出せたというのは、みんながアイデアを出してより多くの方が参加しやすい内容にしたことが良かったと思う。市も、それをサポートするために、ある程度の予算を確保すべきである。本当によく頑張ったと思う。うみかぜクラブへの新規加入があったこと等は素晴らしいことだ。

#### 村田委員

「逗子市スポーツの祭典」当日は、地下の会議室でビームライフル体験を担当したが、地下であってもプログラムについてきちんとアナウンスがされ、参加者にも情報が伝わっていて、待ってもらったこともあった。ここ数年で「逗子市スポーツの祭典」について周知が広がってきたと思う。そのような中、予算措置がなかったということだが、活かす予算の使い方、目玉になるようなゲストを呼ぶための予算等が得られれば、より良いものにつながっていくと思う。

#### 会長

参加者の年齢層はどうだったか。

#### **事務局**

参考資料3 逗子市スポーツの祭典 2018 参加者集計表に、おおまかな年齢別の人数が示してある。高齢者の参加が多い。

#### **会長**

スポーツ庁による 20,000 人を対象とした 2017 年のアンケートによると、週 1 回運動する人の比率が全体のおおよそ半分の 51.5%で (2018 年は 55.1%)、最近まで 40%程度だったが、オリンピックの影響か増加傾向で、一番運動する人が少ないのは 40 代だそう。大体 10 代から 50 代までは 40%台、逆に 70 代は 71%に増えているという。「逗子市スポーツの祭典」でも「高齢者向けのスポーツ種目の検討」とあるが、これは昨今のニーズに合わせた良い取組みだった。

#### **事務局**

第 2 回会議で評価をしていただき、平成 30 年度の逗子市教育委員会の点検評価の資料の中にも出てくるが、週 1 回以上運動する人の比率が、逗子市の場合は 56%と、全国平均より高いという結果がある。

#### **会長**

市民のライフステージに合わせたプログラムだったのだと思う。

「逗子市スポーツの祭典の開催」について、所管課の評価のとおり B 評価でよいと思うがいかがか。

#### **宮川委員**

A と B の間の評価は難しいか。

#### **事務局**

A と B の間の評価を示すことができない。なお、市の交付金はゼロだが、逗子市体育協会の自主スポーツ事業に位置付けたことから、講師謝礼等は逗子市体育協会の方で負担していただいた。また東京ガス (株) 神奈川支店からの協賛金のほか、パネル展示や障がい者スポーツ用車いすの貸出し等で協力をいただいたので、申し添える。

#### **会長**

限りなく B より上に評価したいという意向ということで、事務局は意見をまとめていただきたい。

次に「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、事務局から説明をお願いします。

#### **事務局**

(資料 2 「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」の読み上げ)

#### **会長**

「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、意見があればお願いしたい。

## 宮川委員

先日、逗子リトルが全国大会に出場することになり、市長との面談を行い、市のホームページにも写真入りでアップされた。また、5月19日の市長杯にも市長に参加していただき、その時の宣誓の様子の写真が広報ずしに掲載されたり、逗子市スポーツ少年団に関して取り上げてもらい感謝している。そうした広報の一つひとつが積み重なって、スポーツ都市宣言の基盤が市民に浸透していくのだと思う。「小学生のためのスポーツ団体一覧」もその一つだと思う。いろいろなスポーツ団体があることを市民に知っていただく機会になっている。今年は1年生が1人入団した。引き続き発行してもらいたい。

## 事務局

4月中に小学校で配付するもので、特に新一年生等がスポーツを始めるきっかけになればと考えている。

## 会長

市の未病に対する取組みは非常に良いと思う。テレビ等、情報番組を見ていると、健康に対するリテラシーが課題として取り上げられている。逗子市では運動、医療、健康運動指導士がリンクしているので、健康リテラシーを向上するには一番の取組みである。健康情報を的確につかむことが、ライフステージのなかでどのように運動していくかに直結している。ただ、健康運動指導士が1名というのはいかがかと思う。一般社団法人 日本健康生活推進協会が「日本健康マスター検定」というものを行っている。「日本健康マスター」が身近なところにいれば、間違った運動に対して指摘したり、健康に必要な基本的な栄養情報を身近に得ることができる。健康に関心を持つ人たちが自主的に受講することを薦めても良いと思う。現在、全国で約36,000人が受検して、約20,000人以上が合格しているとのことである。市の職員の中にも資格を持つ人がいれば、医療関係に行く税金を他に回すといった視点を持つことができ、そういうことが基盤づくりにつながるのではないか。スポーツ所管課だけでなく健康に関わる人にとっても取ってもらえば、予算のかからない健康増進につながるのでは。「日本健康マスター」の取得方法や、県の状況を調べてもらいたい。

## 事務局

事務局で調べ、第2回会議で報告する。

## 会長

「日本健康マスター」のような人材が地域にいれば、スポーツクラブにも良い影響になる。ライフステージに合わせたスポーツができる。逗子の場合スポーツをする機会は5つあって、スポーツクラブ型、近隣施設利用型、スポーツ大会等のイベント参加型、スポーツ教室型、長期滞在型（マリンスポーツ等）がある。地域スポーツには「日本健康マスター」のような制度を取り入れていくことが大切だと思う。

## 事務局

健康運動指導士は取得が難しく増員は厳しいということである。「日本健康マスター」が比較的取得がしやすいのであれば検討したい。

## 会長

「日本健康マスター」のような新たな刺激をいれる、資格を取得すればやる気もでる。若い方に地域スポーツに関わってもらうためにも検討してもらいたい。

次に「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について、事務局から説明をお願いします。

## 事務局

(資料2「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」の読み上げ)

## 会長

「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について、意見があればお願いしたい。

中学校については、国の働き方改革にあるように、教員の仕事量の多さが問題になっていて、職務が厳しいからと教員のなり手も減少している。土日祝日も部活動等で出勤したりするので、教員がきちんと休める時間を設けようと試みている。そうもしないと土日祝日でも一日じゅう学校に居なければならないような状況だ。今は、働き方を変える転換期といえる。そうした中で、地域にいるスポーツの指導員の力を借りて指導を行うことはとても助かると思う。

## 村田委員

指導員に指導を受けた感想等は無いのか。

## 会長

またお願いします、と、引き続き派遣のお願いがあることが、感想ということになると思う。指導についての評価は特にしていない。学校の方針を事前に理解していただき、学校の体制を批判せずに、学校での教育指導ではなく部活動での指導に留めている。技術指導的などころであり、教員が指導員に全て任せることはしない。それでも教員の助けにはなっていると思う。

## 村田委員

スポーツ推進委員で3月にボッチャ大会を開催したが、小学校でスポーツ推進委員からボッチャを習った小学生が来ていた。その他にも、親子、障がいのある方等も来て、みんなが一緒にできるスポーツとして盛り上がった。逗子市でもここ数年ボッチャがなじみのある言葉として定着している。東京2020パラリンピック後にも続いていったらよい。

## 会長

近年はインクルーシブ教育が薦められており、学校でも取り入れている。市長が福祉に力を入れているということだが、様々な方が一緒にスポーツをすることが、多様性を認める社会、共生の意識を高めることにつながる。逗子市ならではの動きだと思う。

## 事務局

ボッチャについては、スポーツ推進委員の皆さんに、いろいろな機会に実施していただくことになっており、逗子市スポーツの祭典2019でも計画しているが、子どもから高齢者

までできる競技であるので、東京 2020 オリンピックパラリンピック後のスポーツレガシーとなるように、継続して普及に努めたい。

#### 会長

次に「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」について、事務局から説明をお願いします。

#### 事務局

(資料 2 「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」の読み上げ)

#### 会長

「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」について、意見があればお願いしたい。

#### 宮川委員

財政的支援が無くなって自主独立の経営をすることとなった初年度になったわけだが、安定的に継続していくために会費の値上げに踏み切る等様々な問題があった。参加者もこうした現状を理解しながら、うみかぜクラブを充実させていくことが逗子にとっては大切なことだ。みんなで協力して、安定的な経営を目指して努力するしかない。

#### 会長

災害対策には「自助、共助、公助」という考え方があるが、要は公の機関に期待せず、自分のことは自分でやる、あるいはお互い助け合う、という考え方だが、健康づくりにおいても全く同じで、健康は自分の力で手に入れる、受益者負担というのが今の考え方だと思う。逗子市は、県の平均を上回る運動参加率であったとのことだが、これまでの積み重ねの結果であり自負できることである。先ほどの「日本健康マスター」の話等、今あるものを無くして新しい取組みを行うのではなく、既存のものを否定せず新たなものを加えていく、ということが大切である。新たな考え方を取り入れることを発信していくことが大切である。逗子市内には、海にも公園にも運動をする人が多く、運動による健康づくりへの意識がとても高いと思う。こうした健康意識の高さを、随時発信していけばよいと思う。

次回の会議に向けて、事務局は今日の意見をまとめていただきたい。

#### 事務局

今後の予定について参考資料 7 をご覧ください。

(参考資料 7 の説明)

第 2 回会議は、8 月 27 日 (火) とさせていただく。今日のご意見以外にも意見があれば、8 月中旬位までにお知らせいただきたい。教育委員会の点検評価に関する報告書についても、第 2 回会議でご意見をいただく予定である。

#### 会長

(2) その他

#### 会長

次に、議題 2 「その他」について、何か連絡することはあるか。

#### 事務局



参考資料3をご覧ください。逗子市がスペインのホストタウンとなり、8月12日(月祝)にスペインセーリングチームと交流会を開催することになった。委員の皆様にもぜひご参加いただきたいのでよろしく願います。

会長

他に、意見・質問等があればお願いしたい。

**【特になし】**

事務局

会長

本日の議事は終了した。以上で「令和元年度第1回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。

◇◇◇終了◇◇◇

以上